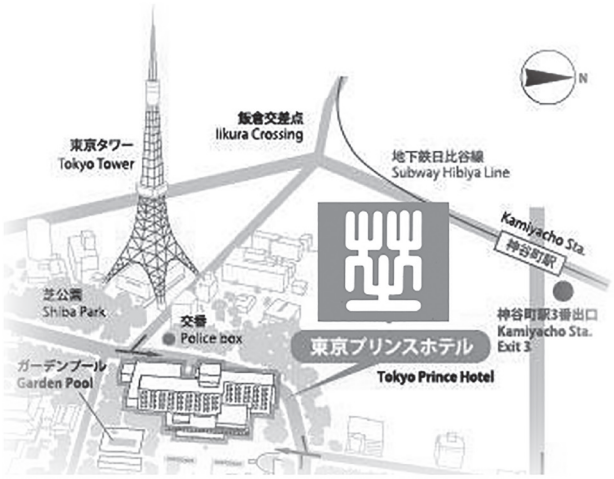
第57回 同窓会大会

令和6年9月14日（土）

「4の期」と言えば、10年前・20年前にも好評を
いただいた『ホームカミング・デイ（母校に帰る日）』、
母校の学園祭と同じ日での開催です。



現役生学園祭との同日開催で、特別コラボレーション企画！
「芝学園講堂での講演」と
「東京プリンスホテル・プロビデンスホールでのパーティー」
講演会／第104回生 那須野薫氏 16:00〜、パーティー：17:00受付開始 ／ 17:30 開演

事前申込 8/28 まで

参加料金は**事前申込がおトク！**
（事前）10,000円 （当日）12,000円、第108回生以降の皆さん（事前）8,000円 （当日）10,000円
※参加人数把握のためにも、事前申込にご協力ください。同封の振込用紙をご利用ください。

《当日プログラム》

〜16:00　各自ご自由に学園祭を
お楽しみください！

16:00　講堂にて「那須野薫氏 講演」

17:00　東京プリンスホテルへ
同窓会大会受付開始
於）プロビデンスホール

17:30　開会の辞
ご挨拶
乾杯・開演

18:30　イベント
（吹奏楽部OBによる
音楽演奏など）

『芝中生が見た
東京大空襲』
特設展示コーナーも！

19:15　福引大会

19:45　同窓会旗引継
校歌斉唱
閉会の辞

20:00　お開き

※表記のプログラム時間は変更になる場合がありますので、同窓会ホームページにてご確認ください。

学園祭に行かれたら…ぜひ寄ってみてはいかがでしょう？

創立110周年を期に開設された「芝ミュージアム」では、デジタル化された「古い卒業アルバム」や江戸時代の地図などが展示されています。（校舎1階）

※「芝ミュージアム」学園祭期間中は終日オープン、予約なしでご覧になれます。

芝学園の沿革

法然上人によって開かれた浄土宗の僧侶子弟教育は、江戸時代に於いては関東十八檀林で行われていた。その筆頭としての「大檀林」が増上寺に置かれ、宗学の研鑽や修行の場となってた。

明治に入り学制が発布されると芝公園一号番地に、明治二〇年浄土宗内子弟の教育の場として「浄土宗学東京支校」が開校され、これが芝学園の濫觴となった。なお明治二三年に校舎は学問所として伝統のある芝公園二二号地「岳蓮社」に移された。

明治三九年　一般に門戸を開き文部大臣の許可を得て「芝中学校」設立
校友会の発足　学級数八　教員二〇名　在校生二六六名
明治四三年　校歌・校旗の制定
明治四四年　渡辺海旭校長「遵法自治」を校訓とする
大正　元年　同窓会の発足
大正　三年　寄宿舎が竣工し学園としての施設が整う
大正　五年　火災に遭い雨天体操場銃器庫を残し校舎四棟を焼失
大正一五年　創立二十周年　在校生九六一名
昭和　三年　父兄会を創設
昭和　九年　千葉県竹岡に臨海寮創設
昭和一〇年　空襲により校舎すべてが焼失
麻布中学校・芝商業学校の温情により校舎を借用し授業は続行
校友会の再発足
昭和二一年　校舎復興　復興祭挙行
昭和二三年　同年　新学制により「芝中学校・高等学校」として再出発
同年　父兄会をPTAに改組
昭和二八年　校友会を生徒会に改組
昭和三一年　創立五〇周年　在校数一五二六名
昭和四一年　創立六〇周年記念事業として講堂を建設　在校数一九三三名
昭和四八年　体育館が竣工
昭和五一年　創立七〇周年　在校数一八一七名
昭和五六年　全天候型に校庭改修
昭和五七年　六年間完全一貫教育体制となる
昭和六一年　創立八〇周年　在校生一六六五名
平成　三年　竹岡臨海寮を全面改築
平成　八年　創立九〇周年　在校生一七〇八名
平成一〇年　創立百周年記念事業として地上八階地下一階新総合校舎が完成
平成一八年　創立百周年

創立以来二万人あまりの逸材を世に送り出してきた芝学園は今、創立百年を迎える。その底流にある精神は三百五十年以上も脈々と続いているのである。

以上、第一〇〇回卒業生寄贈による額より
芝ミュージアム前掲出

平成二二年　講堂を改修　ベルカ賞を受賞
平成二五年　グランドを全面改修
平成二八年　創立一一〇周年　卒業生約二万五千人
同年　芝ミュージアムを開設
令和　元年　渡辺海旭先生校長就任一〇〇周年記念事業、正門完成

第57回 同窓会大会 運営実行：
第64回／第74回／第84回／第94回／第104回生有志

詳細は 裏面 または
同窓会ホームページで
https://www.shiba-ob.net/